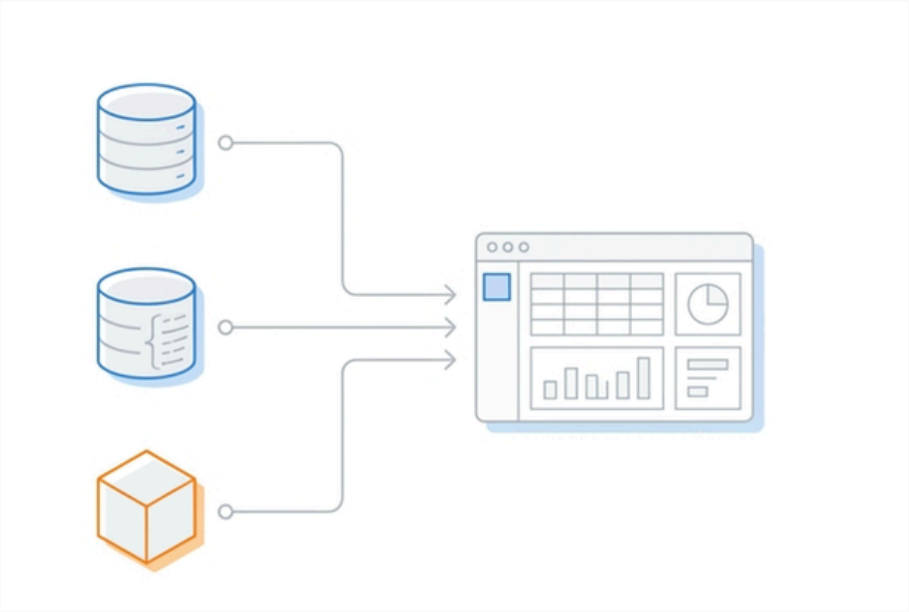
手順書

研修Day1
Tableauハンズオンマニュアル

人流センサーのデータを可視化する

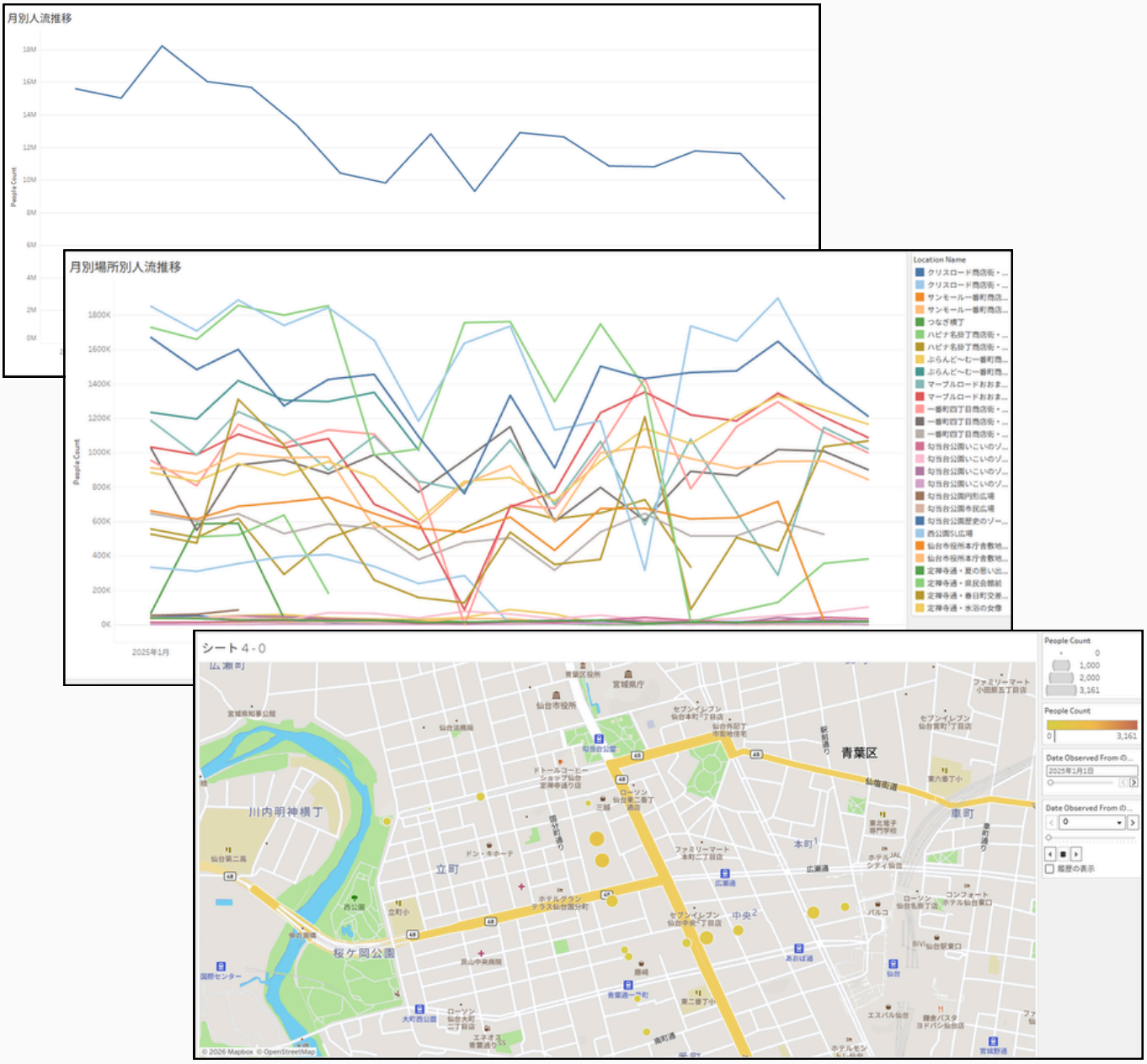


完成イメージ

2025 年、2026年の仙台駅周辺の人流センサーデータ

サンプルViz URL

https://public.tableau.com/views/_2026_17858386664310/sheet3?:language=ja-JP&:sid=&:redirect=auth&:display_count=n&:origin=viz_share_link



1

データソースの準備

Viz作成のために、可視化の元となるデータを「データソース」タブにセットします。ここが最初の関門であり、最も重要な工程です。

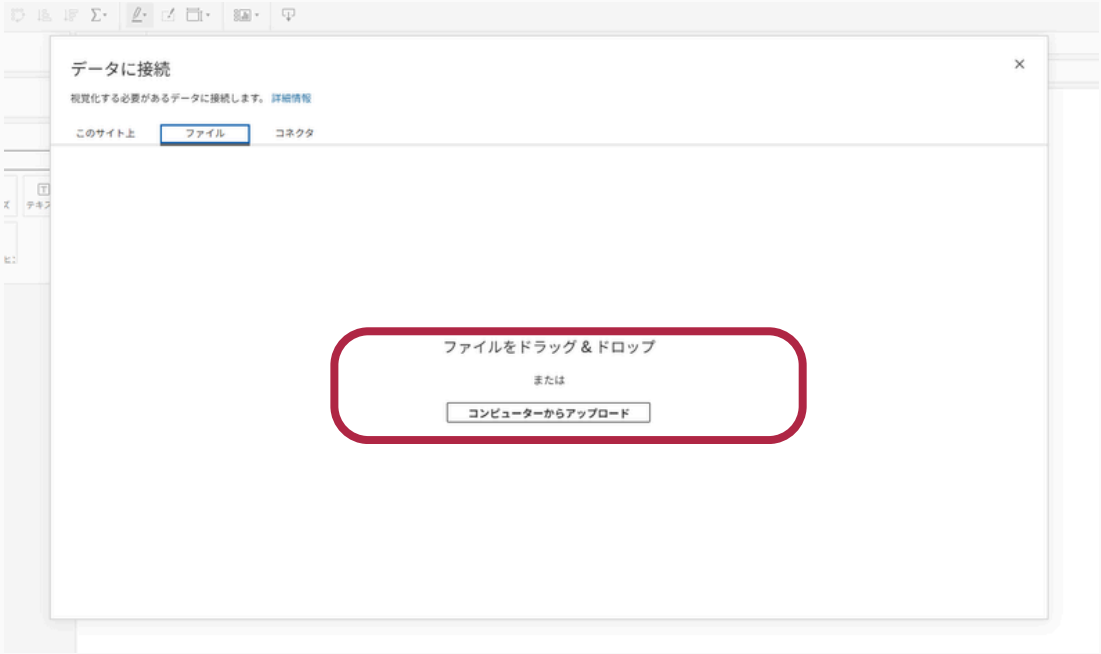
1　使用するファイル

ファイル	役割	主なカラム
people-flow-2025.csv people-flow-2026.csv	2025年、2026年の人流実績データ	dateObservedFrom（観測日）/ peopleCount（通行量）/peopleOccupancy（滞留量）/ peopleCount_flow_from/to_east/west/south/north/unknown（方向別流入出）/ identifcation（地点ID）/ holidayFlg（休日フラグ）
people-flow-sensor.csv	人流センサー設置地点マスタ	identifcation（地点ID）/ locationName（地点名）/ latitude / longitude（緯度経度）

2　データのコピー
研修WEBサイトからダウンロードしてください。
https://data-sendai-platform.jp/contents/training-document/r8.html

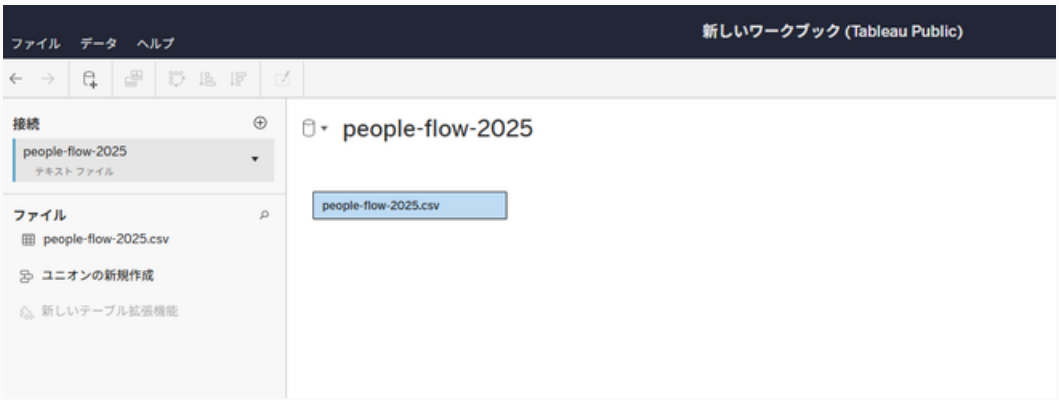
3　tableauにログインして、Vizの新規作成をクリックする
https://www.tableau.com/ja-jp/tableau-login-hub

4　「データに接続」の「ファイル」タブをクリックし、「コンピューターからアップロード」をクリック

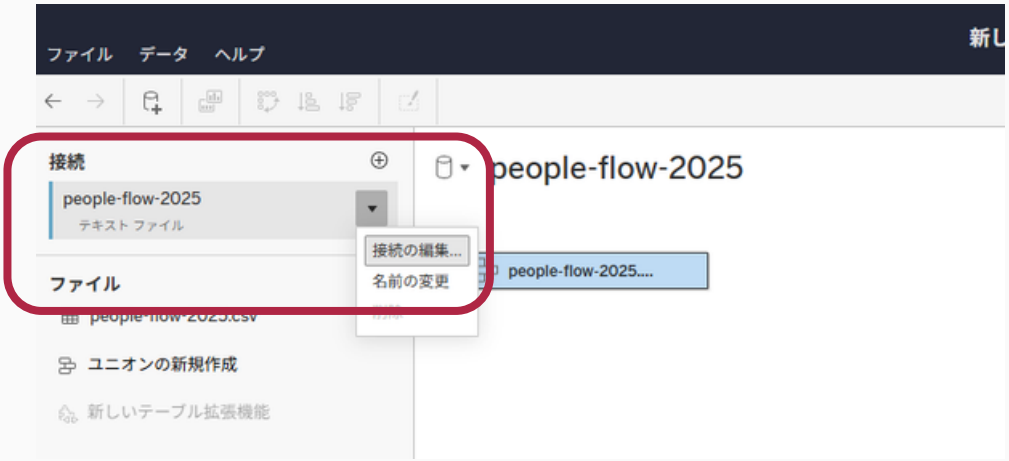


5　先ほどコピーしたデータから「people-flow-2025.csv」を選択

6　キャンバスにデータソースが追加されたことを確認

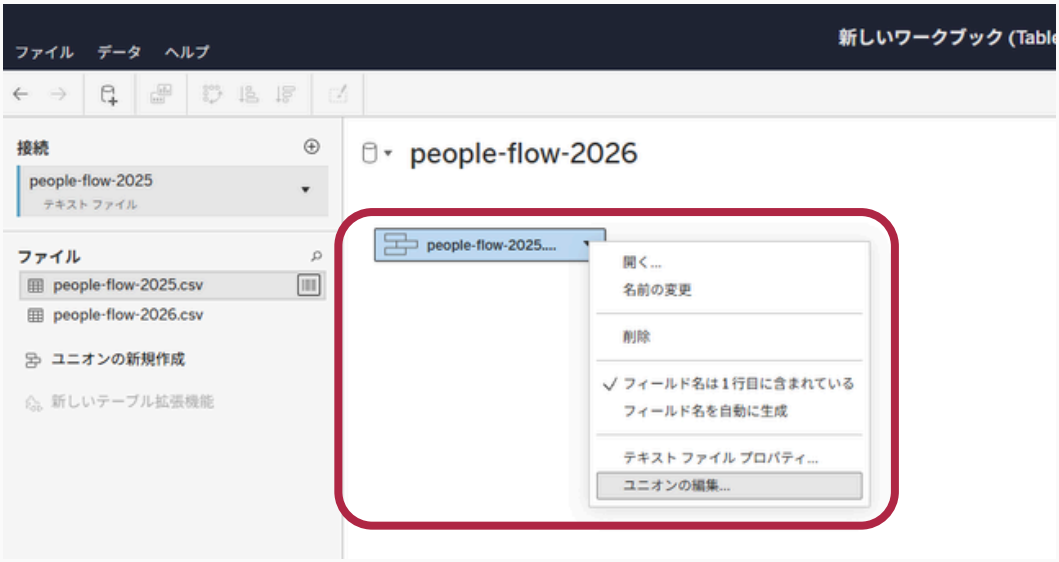


7　「続けて2026年のデータも追加する。先ほど接続したデータの右上にある▼をクリックし、「接続の編集」を選択

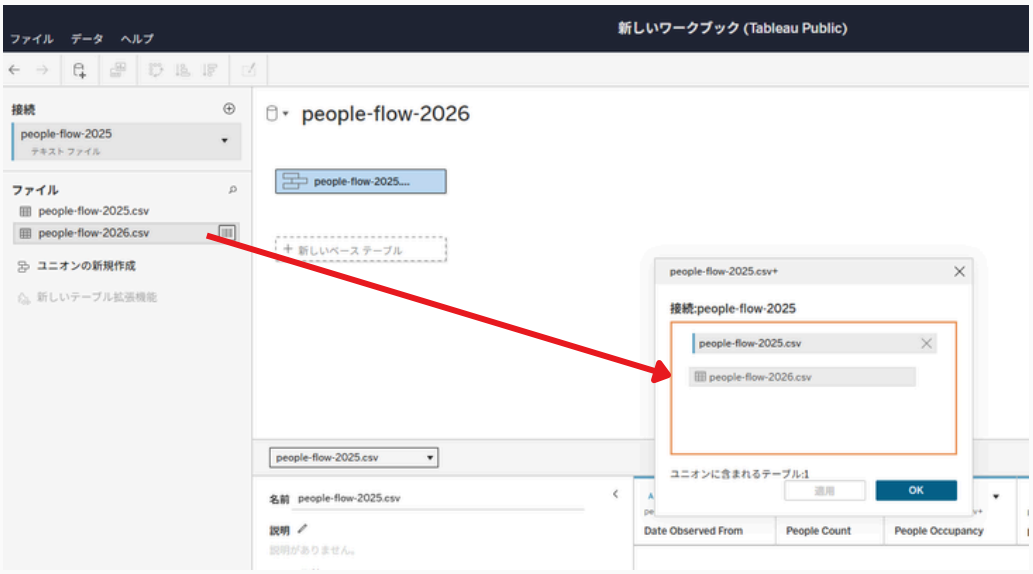


8　02と同様に「people-flow-2026.csv」を選択して追加

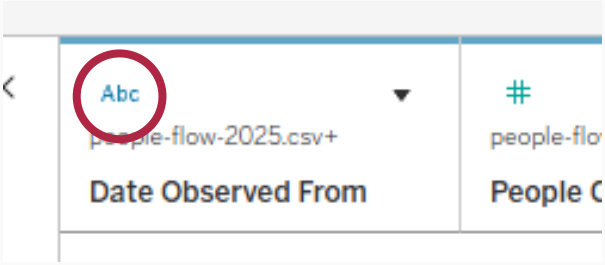
9　２つのデータを一つにまとめる（これを「ユニオン」と言います）。キャンバスにある「people-flow-2025」の横にある▼をクリックし、「ユニオンの編集」をクリック

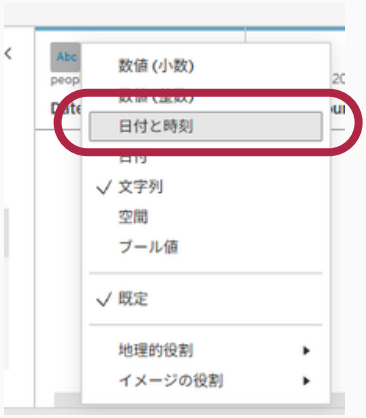


10　接続窓が開くので、ファイルから「people-flow-2026.csv」をドラッグ＆ドロップして「OK」をクリック

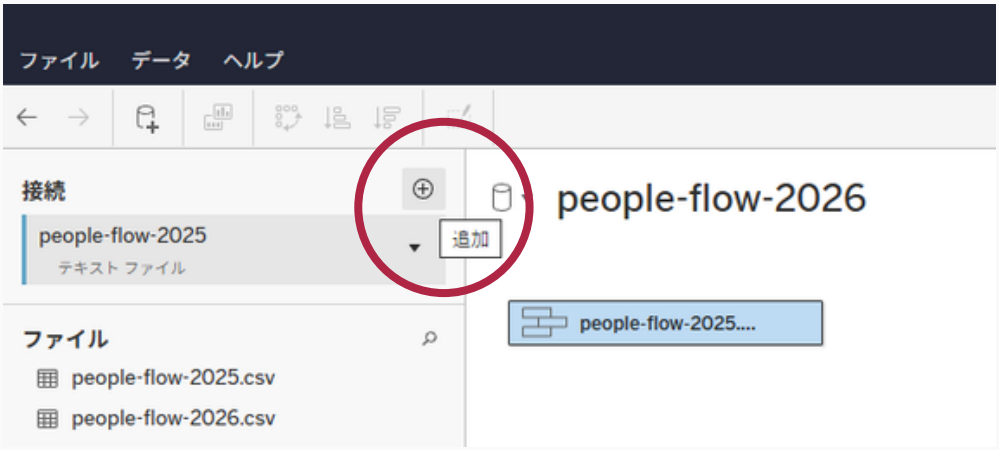


11　データ型を変換する。データグリッドの「Data Observed From」の「Abc」と表示されている部分をクリックして「日付と時刻」を選択

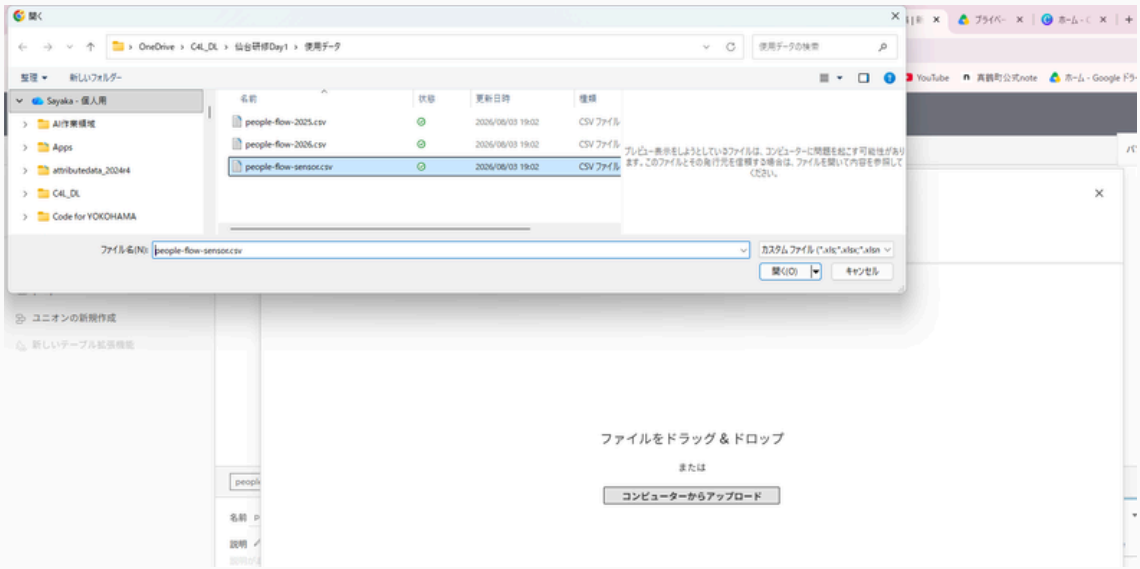




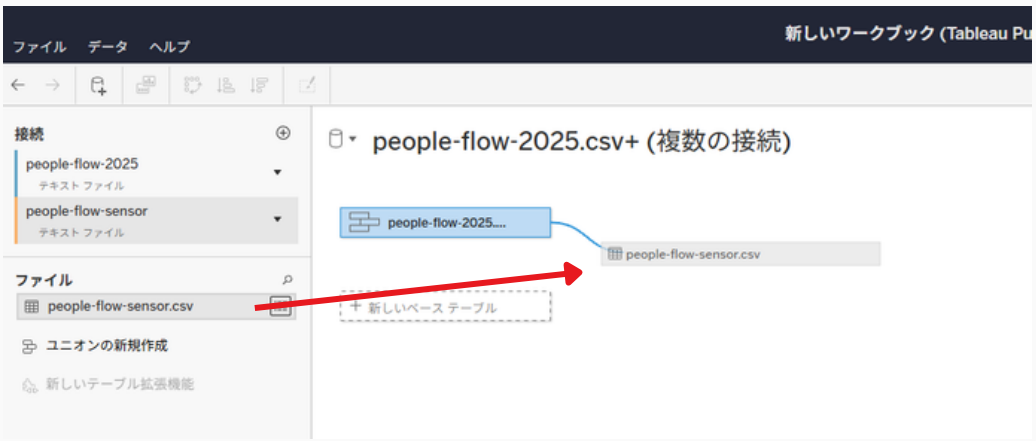
12　人流センサー設置地点マスタを追加する。接続タブにある「＋」マークをクリック



13　データの接続窓が開くので「コンピューターからアップロード」をクリックして、「people-flow-sensor.csv」を選択して、「開く」をクリック



14　「people-flow-sensor.csv」が接続に追加されたら、データをキャンバスへドラッグ＆ドロップで追加



15　メタデータグリッドに以下のような画面が表示されるので、赤線部分が、両方とも「identification」になっているか確認

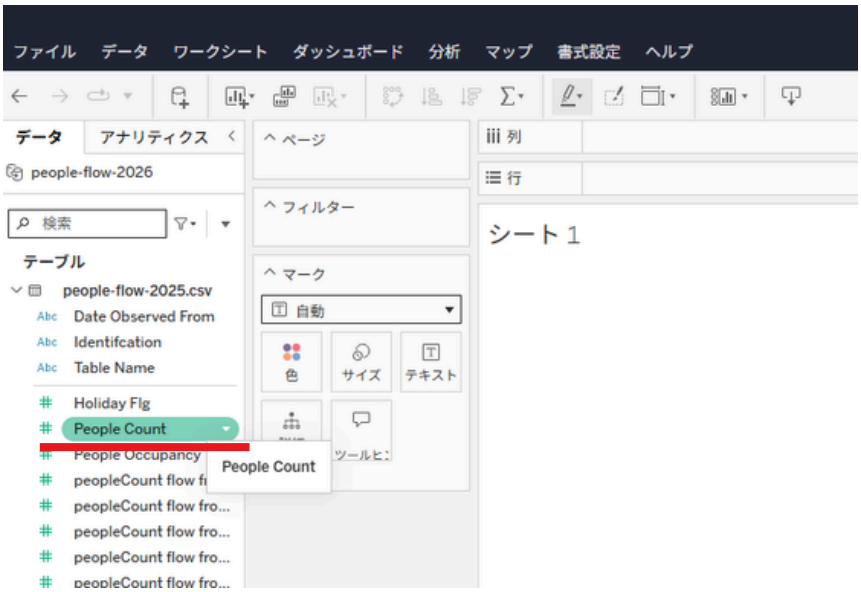
データソースの準備は終わりです。
データが消えないように、ここでパブリッシュをしておきましょう。
次は、可視化作業を行います。

2

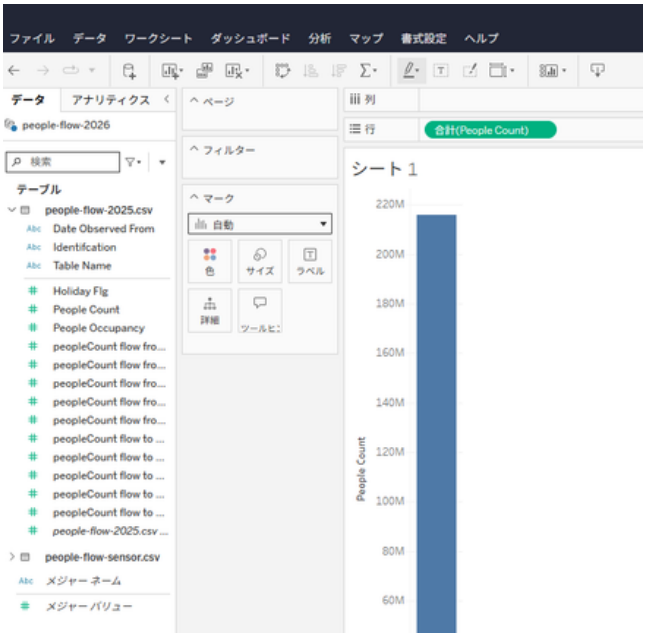
TABLEAUによる可視化を行う

まずはシンプルな棒グラフ

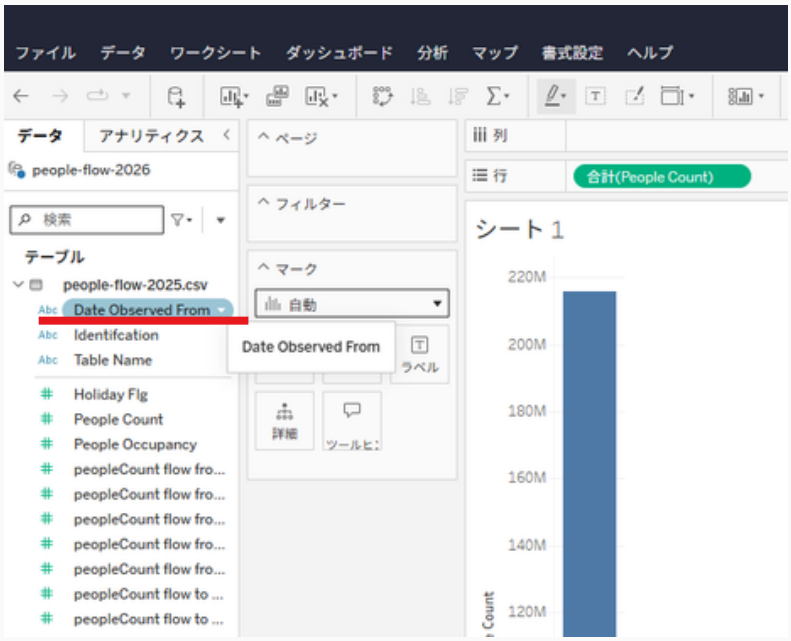
1　「シート１」を開く。
開いたら左のデータ内にある「People Count」をダブルクリックする



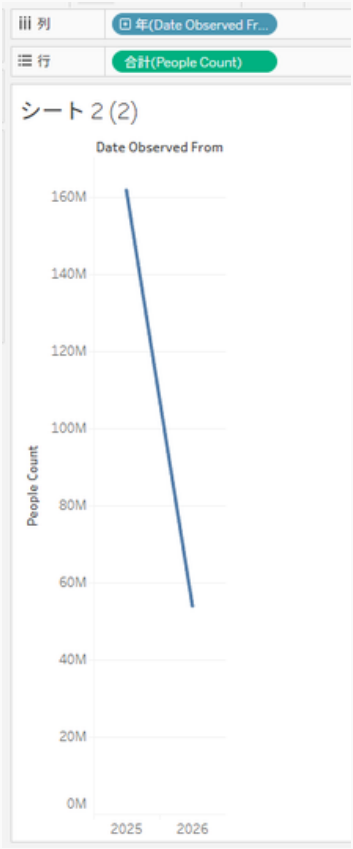
このような棒グラフが表示されます。これは全ての人流データの数値を縦に並べただけのグラフです。



2　次に、「Data Observed From」をダブルクリック

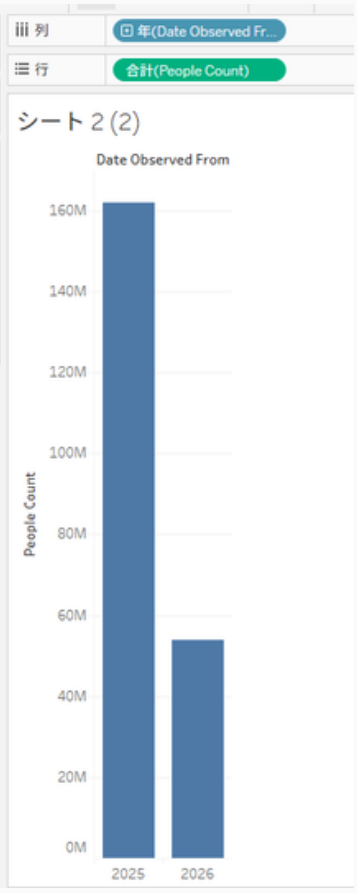


このような棒グラフが表示されます。これは、先ほどの全ての人流データの数値を「年」でカットして表示したグラフです。



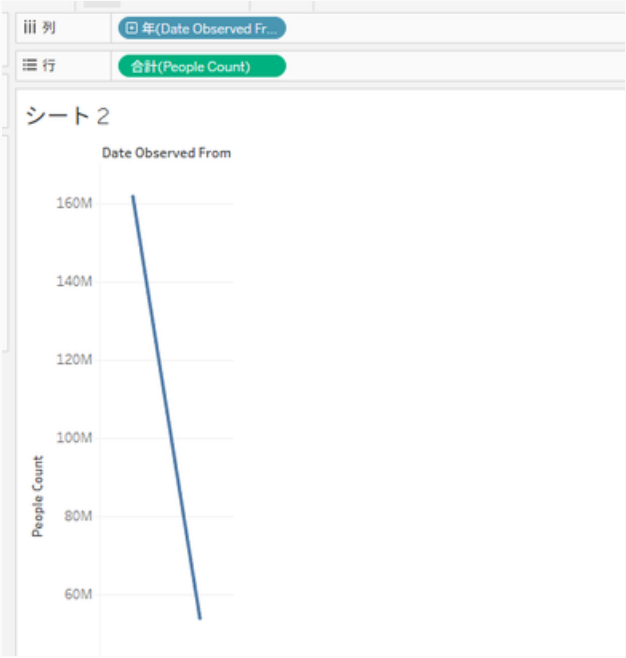
マークから「棒」を選択

棒グラフに変更されました。

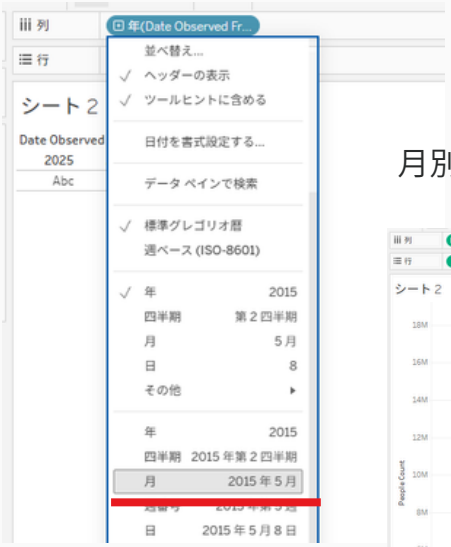


月別人流の推移

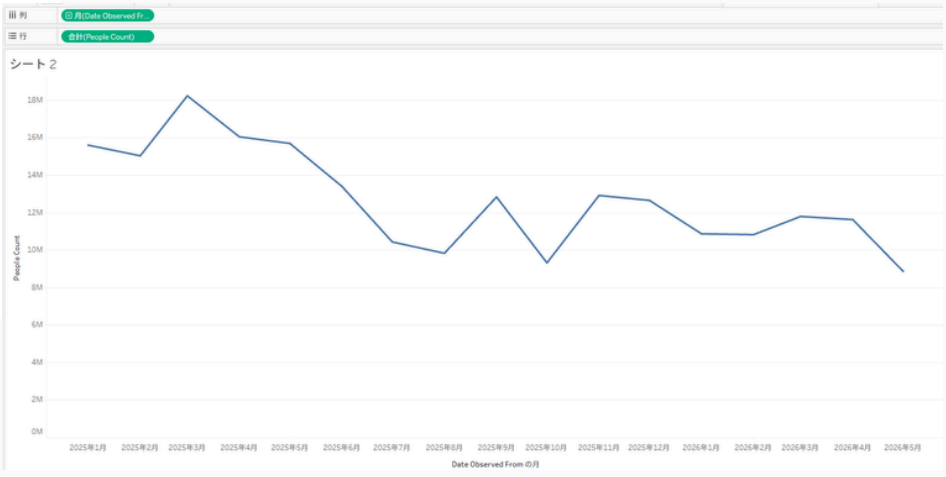
1　新しいシートを開きます。
「Data Observed From」を列に、
「People Count」を行にドラッグ



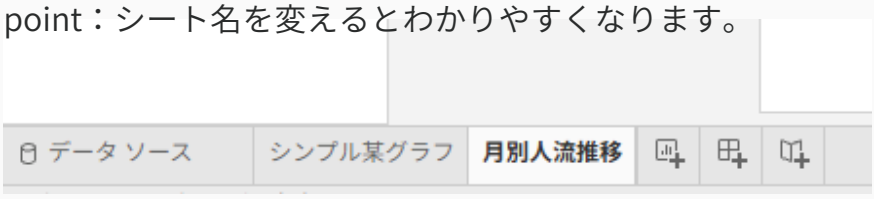
2　「Data Observed From」の横にある▼をクリックし、「月」を選択



月別の折れ線グラフが完成

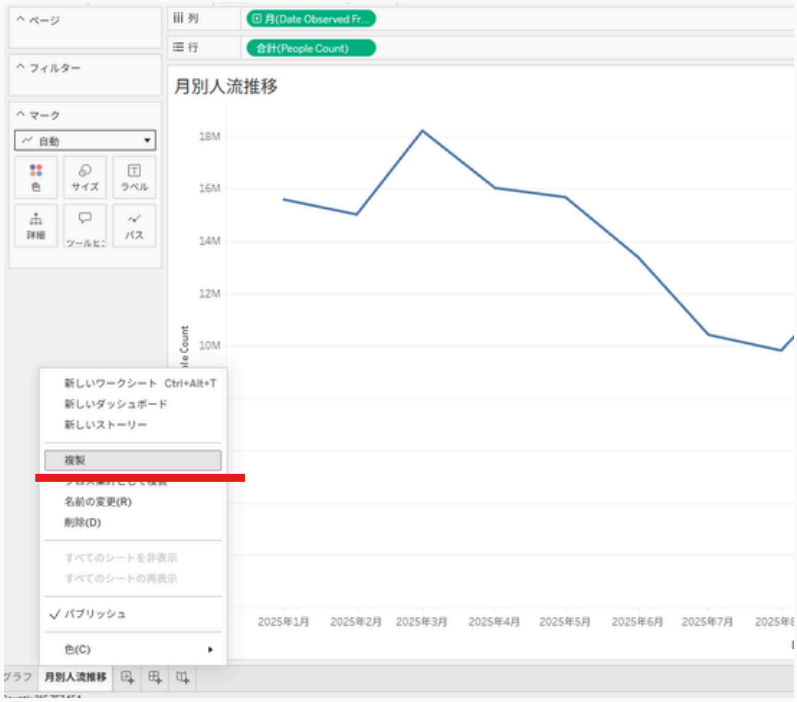


point：シート名を変えるとわかりやすくなります。

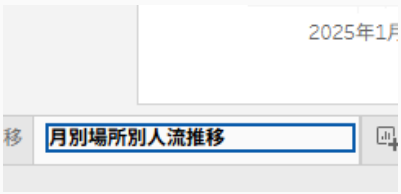


月別場所別人流の推移

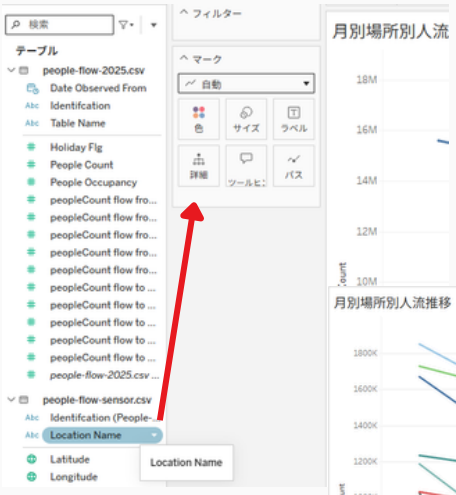
1　月別人流推移グラフのシート名を右クリックして、「複製」を選択



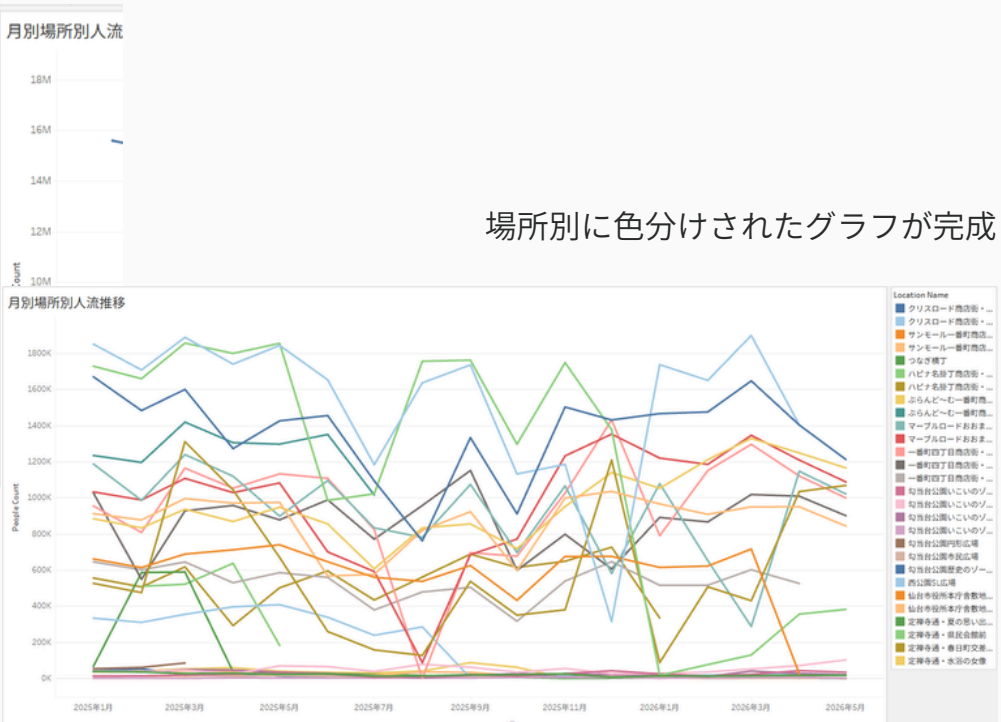
コピーされたらシート名を変更する



2　「Location Name」をマークカードの色にドラッグ

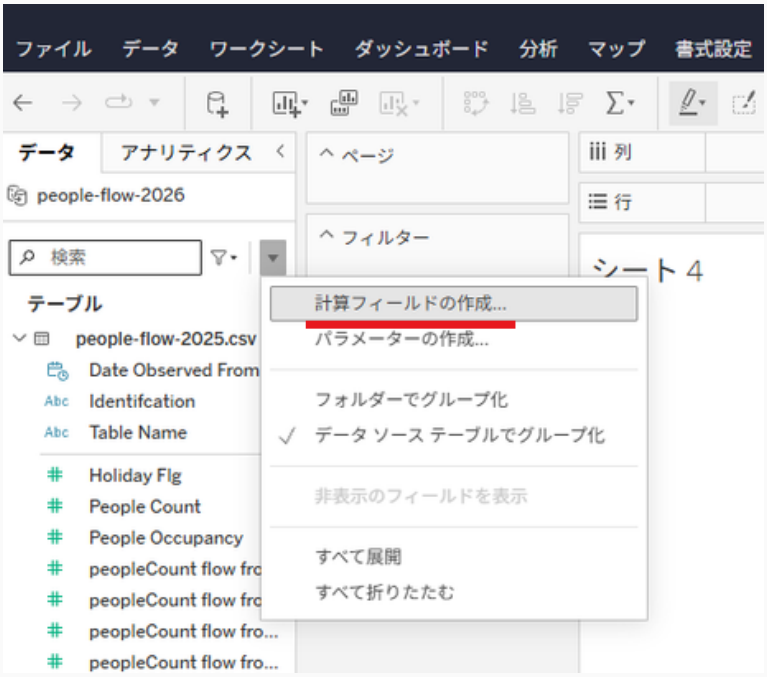


場所別に色分けされたグラフが完成

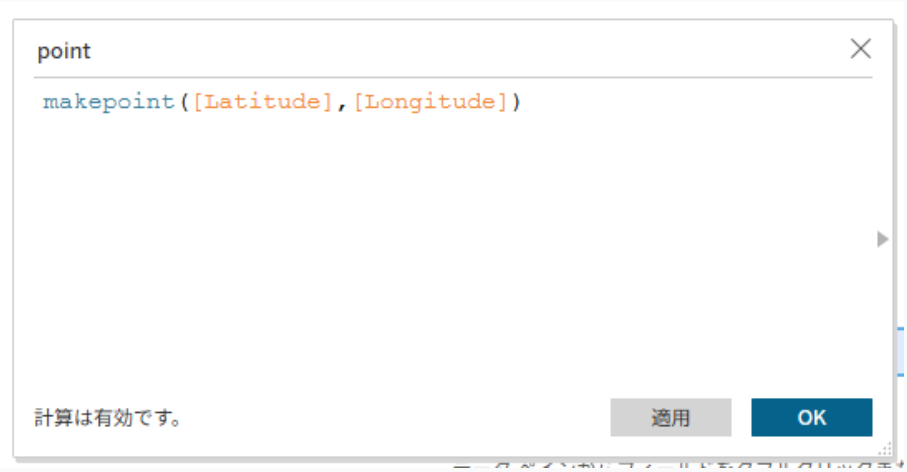


人流マップの作製

1　新しいシートを開きます。
計算フィールドを作成します。
データペインの上の方にある▼をクリックして「計算フィールドの作成」を選択



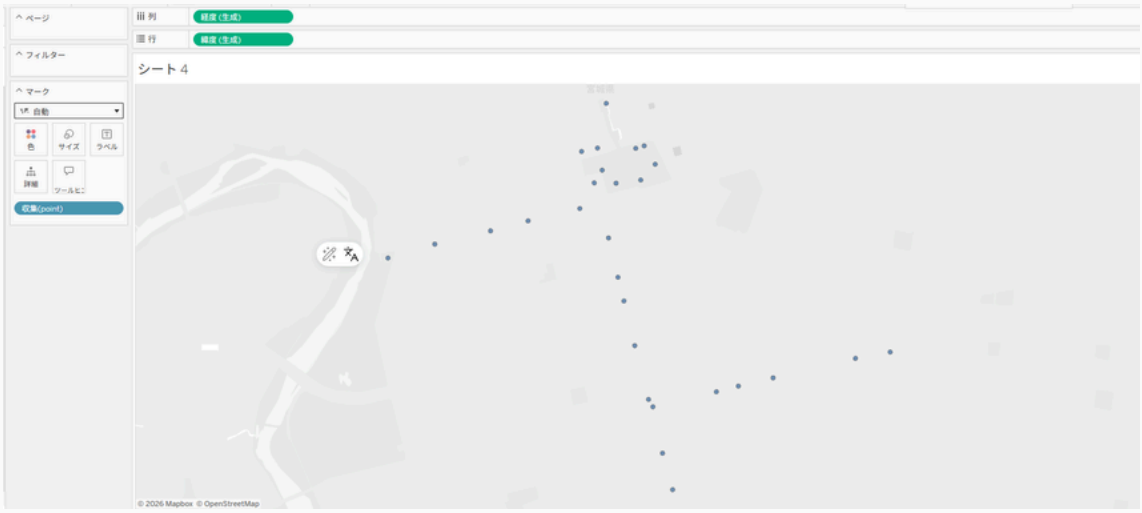
2　名称を「point」にして、以下の計算式を入力



【計算式】

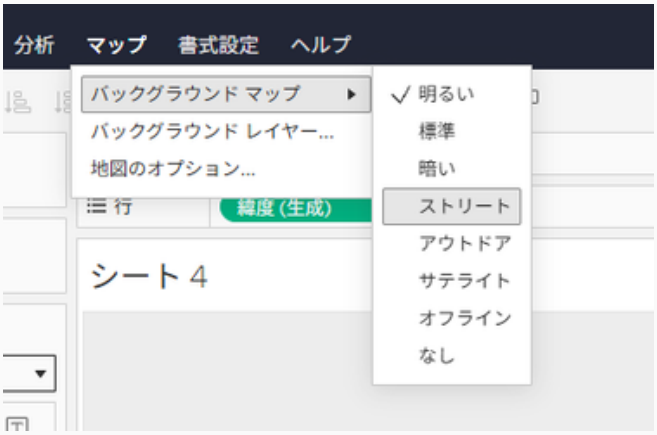
makepoint([Latitude],[Longitude])

3　計算式で作成された「point」をダブルクリックすると、地図が表示される



4　見やすくしていきます。

①マップから「バックグラウンドマップ」
→「ストリート」に変更
⇒背景マップが見やすいものになります。



②「Location Name」をマークの詳細へ
⇒マウスポイントすると地点の名称が表示されます。

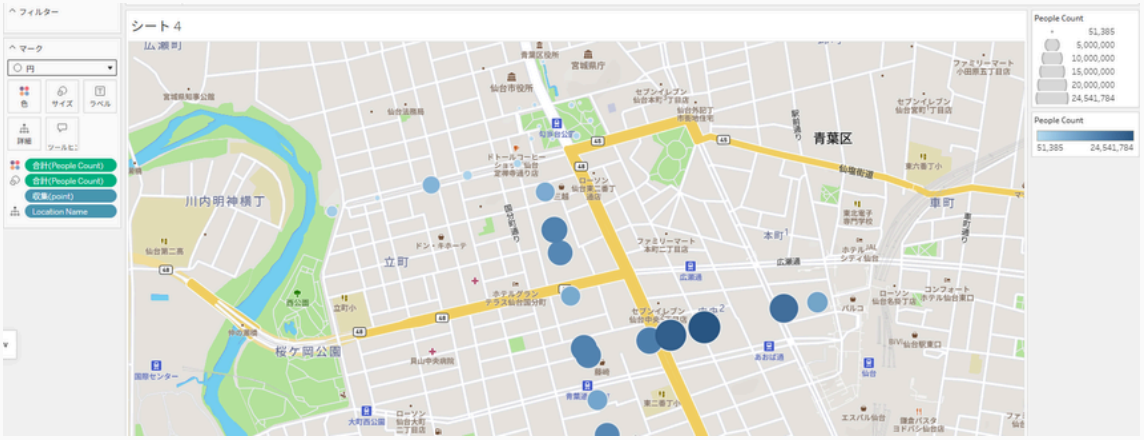
4　見やすくしていきます。(続き)

③「People Count」をマークのサイズへドラッグし、マークを「自動」から「円」に変更
⇒データの数によって円の大きさが変わります。

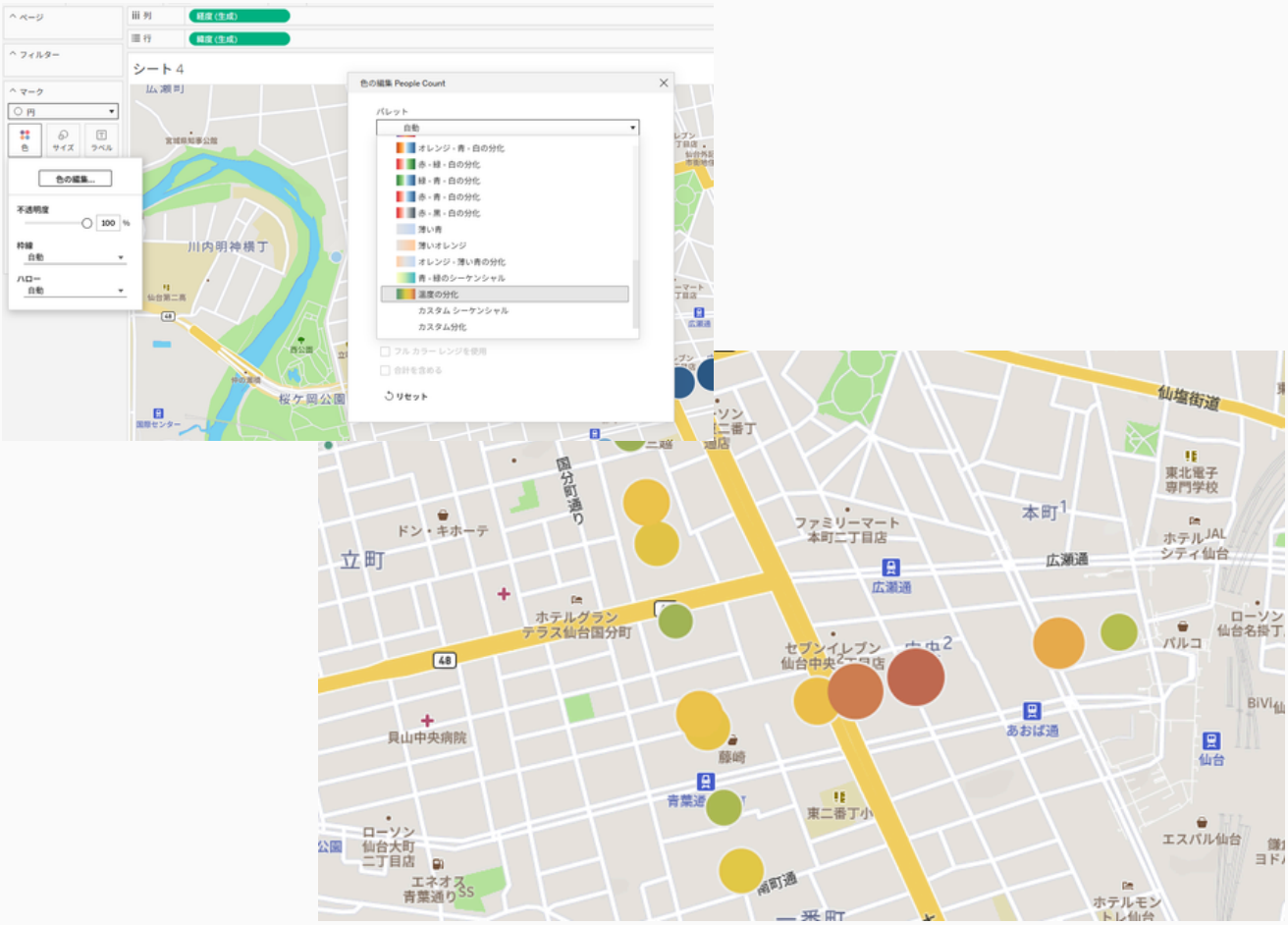
④「サイズ」をクリックし、マークサイズを「55%」にする
⇒円の大きさが強調して表示されるようになります。

4　見やすくしていきます。(続き)

⑤「People Count」を「色」へドラッグ
⇒データの数によって色が変わります。

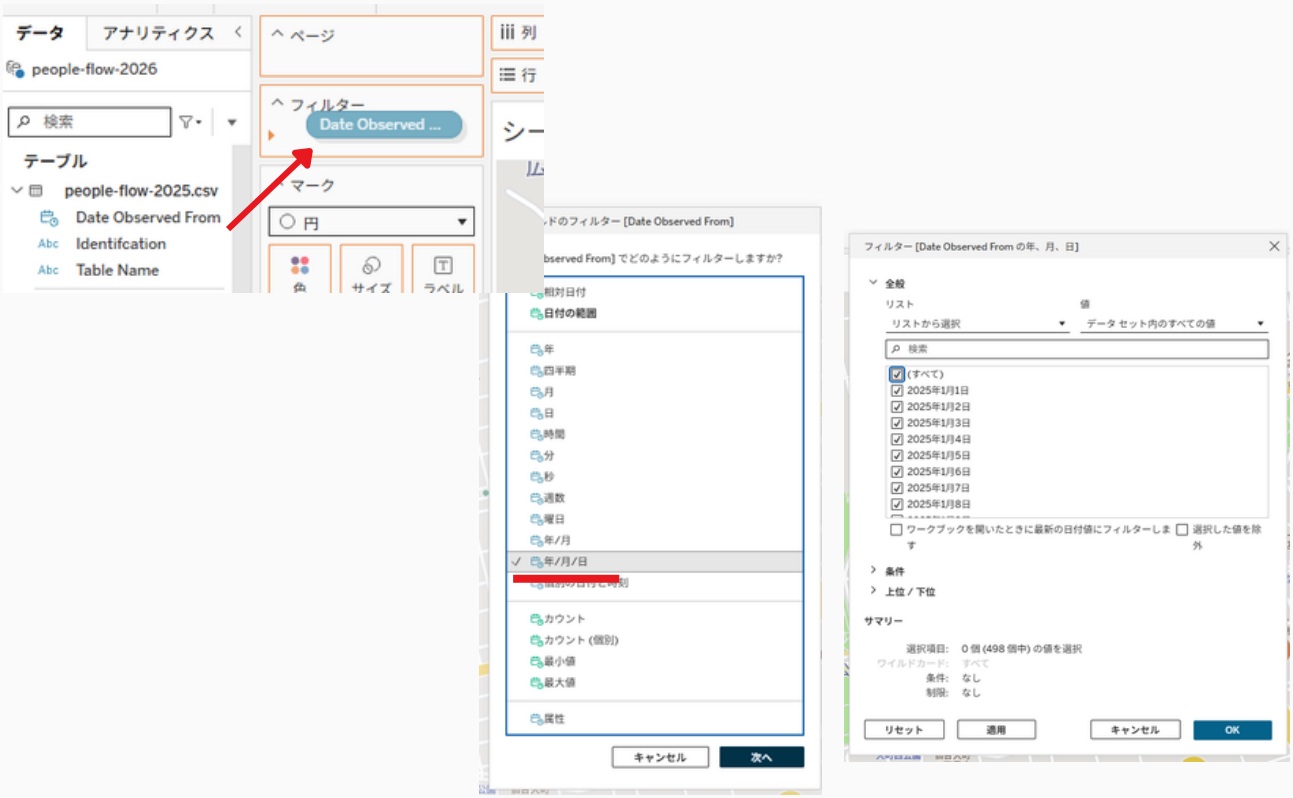


⑥「色」をクリックし、「色の編集」⇒パレットで「温度の分化」を選ぶ
⇒円の大きさごとに色も変更されるようになります。

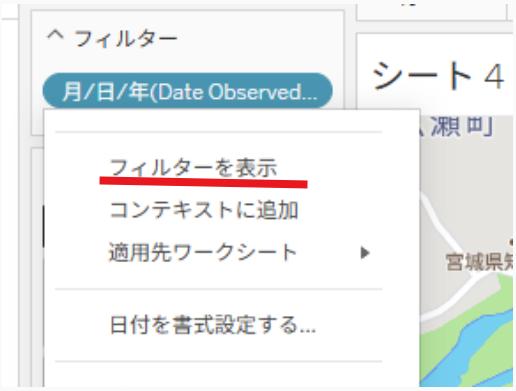


4　見やすくしていきます。(続き)

⑦「Data Ovserved Form」をフィルターにドラッグ→「年/月/日」を選択→「すべて」を選択

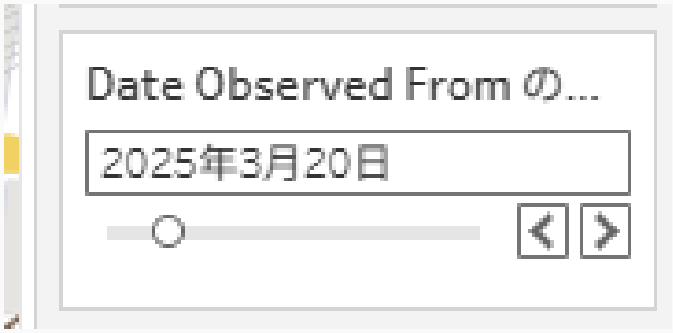


⑧「Data Ovserved Form」の右にある▼をクリック→フィルターを表示をクリック⇒右下にフィルターが表示されます。



4　見やすくしていきます。(続き)

⑨表示されたスライダーの右にある▼をクリックして、「単一値（スライダー)」を選択する

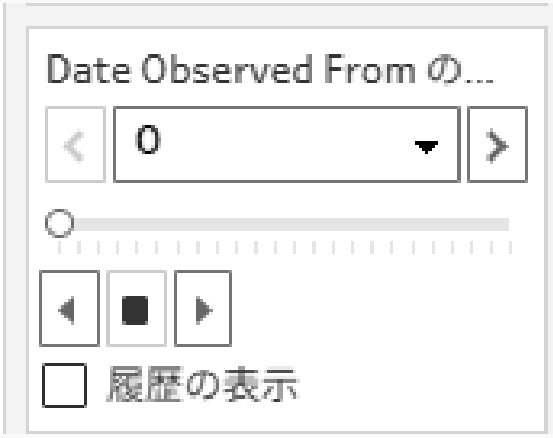


スライダーを動かすことで、日付ごとの表示がされるようになる

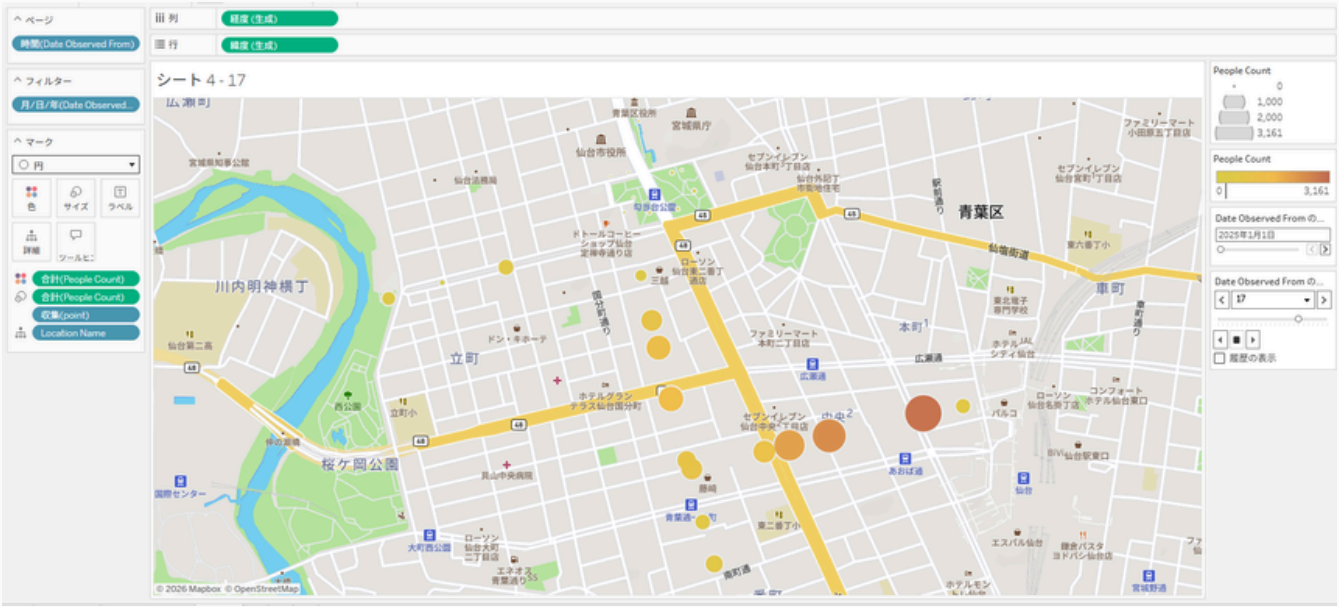
⑩表示されたスライダーの右にある▼をクリックして、「カスタマイズ」を選択→「すべての値の表示」のチェックを外す

4　見やすくしていきます。(続き)

⑪「Data Ovserved Form」を「ページ」にドラッグ→右の▼をクリックして、上の段にある「その他」の「時間」を選択



再生ボタンを押すと、自動で1時間ごとのデータが表示されます



完成です！お疲れ様でした！